

JEAN-LOUIS SERVAN-SCHREIBER

Journalist specialising in contemporary human, economic and social Issues

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Jean-Louis Servan-Schreiberは、印刷メディアと放送メディアの両方における現代の人的、経済的、社会的問題のジャーナリストです。彼は現在、フランスの隔月誌CLESの編集者および出版者です。

以前は、10カ国で出版されたPsychologies誌の出版社兼編集長でした。それ以前は、1967年に彼が立ち上げたフランスでも有数のビジネス誌であるL'Expansionの隔月刊誌など、いくつかの経済論文や雑誌を発行しているGroupe ExpansionのCEOでした。

Jean-Louisは、1937年にジャーナリストEmile Servan-Schreiberの息子として生まれました。1959年にパリのInstitut d'Etudes Politiques de Parisで修士号を取得し、その後日刊紙Les Echosでジャーナリストとしてのキャリアをスタートさせました。

1971年にカリフォルニアのスタンフォード大学でジャーナリズムを教え、現在4人の子供4人とCLES誌の共著者である妻ペルラと共にパリに住んでいます。

Jean-Louisは、Le Pouvoir d'informer 1972 Editions R. Laffont、L'Art du Temps 1983 Editions Fayard、Le Retour du Courage 1986 Editions Fayard、Le Métier de など、15冊の書籍を執筆しています。Patron 1990 Editions Fayard、Trop vite 2010 Albin Michel、Pourquoi lesgiché 2014 Albin Michel、C'est la vie 2015 Albin Michel

Topics

- Economics
- Environment
- Finance
- Society